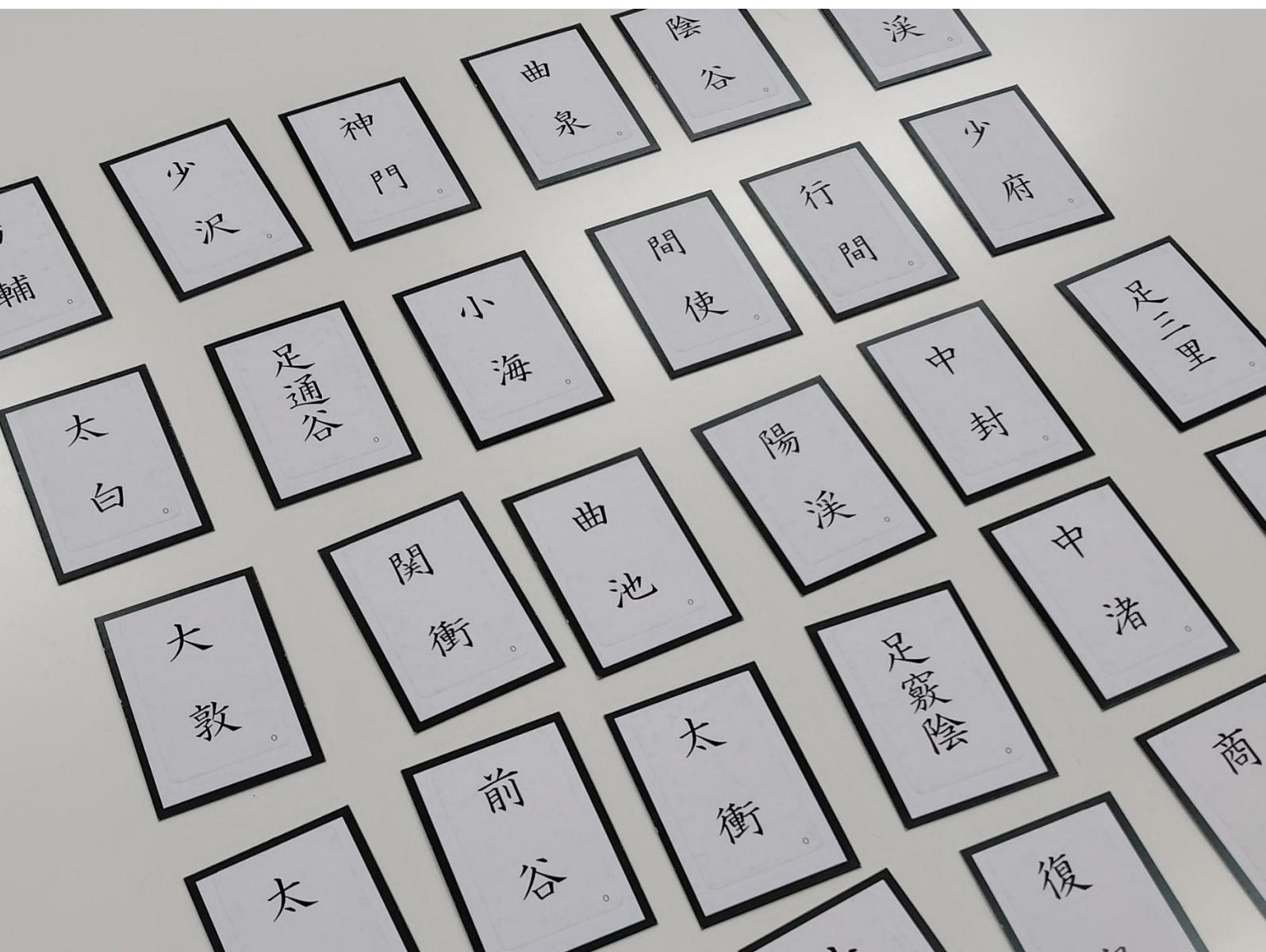


呉竹だより

第 4 号

2025 年(令和 7 年) 8 月

【発行】 学校法人呉竹学園 横浜呉竹医療専門学校
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-24
電話 045-471-3731 FAX 045-471-3732
URL www.kuretake-yokohama.ac.jp



学校法人 呉竹学園
横浜呉竹医療専門学校

呉竹会会長挨拶



横浜呉竹医療専門学校
呉竹会
会長 佐久間 裕之

盛夏の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、4月3日の入学式に立ち合わせて頂き、輝く目と希望に満ち溢れた新入生の姿に元気をもらうと同時に心地よいプレッシャーを感じられた素敵な時間を過ごすことが出来ました。

また、私たちの母校呉竹学園は、来年2026年に創立100周年を迎えます。その周年記念事業の準備も着々と進められています。当会主事業である学術交流や学校行事支援など、未来の臨床家の育成に関われることに、会員として、そしてOBとして喜びを感じながら、学園の更なる発展に寄与できるよう当会一丸となり、記念すべき100周年事業にも惜しみない協力をして参りたいという思いでございます。

さて、国内の柔道整復・鍼灸・マッサージ市場は、国内のコンビニエンスストア総数5万5千店舗を凌ぐほどに成長する一方、同業や民間資格サロンなどの周辺業種と競合する場面も増え、30年続く我が国の経済不況と物価高も相まって厳しい時代を迎えつつあることを実感しています。しかし、厳しい競争の中でも、私たち治療家は常に患者様に寄り添い安心感を与えられるような存在として、技術力・知識力はさることながら、問診力を含むコミュニケーション能力を育むことも必要です。悩みや相談を受けたり、プライベートな会話に共感したり、或いは食事や運動、姿勢のアドバイスであったり、地域のゲートキーパーとして患者様の健康の維持増進に貢献するため、より一層切磋琢磨することが求められるでしょう。そして、健康維持の重要性への意識改革と情報社会であるがゆえに起こる錯誤を吟味し、常にアップデートしながら、選ばれた治療家を目指していききたいものです。

今年2025年は、60年に一度しか訪れない貴重な「乙巳（きのとみ）」の年で「変化と挑戦のエネルギーが高まる年」とされているようで、個人では新しいスキルや知識を学び、自分の可能性を広げる年であり、社会では、社会全体で新たな価値観や技術革新が注目を浴びる年になる可能性があるとしてもワクワクする年になるようです。

皆様にとってこれまで以上の充実した年になることを祈念申し上げます。

学校長挨拶



横浜呉竹医療専門学校
校長 坂本 歩

横浜呉竹医療専門学校を設置する学校法人呉竹学園は、来年創立100周年を迎えます。少なくとも明治から大正時代において、我が国の伝統医療教育は徒弟制度の中で行われてきたと考えられます。創立者坂本貢翁は、この教育の仕組みを近代化させ学校教育の中で広く多くの人材に門戸を広げようとしてきました。即ち、近代から現在までの伝統医療教育の歴史は、本学園の歴史といっても過言ではありません。本校も、昭和29年に東京高等鍼灸学校の分校として、熱海の地に開学し、以来、75年以上、静岡、神奈川を中心として多くの卒業生を輩出してまいりました。創立者の教育理念の基づき永年培われた教育技法は、他の追従をゆるさないものであり、斯界の中心的存在であると自負しているところであります。また、伝統ある本校が、時代の趨勢に合わせ、今後とも努力邁進し、さらなる充実を図って参る所存であります。

本年度より様々な創立100周年記念事業を展開していく予定であります。呉竹会の皆様には、いろいろな場面でご参加いただき、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、呉竹会の皆様の更なるご発展を祈念申し上げます。

第36回呉竹医学会学術大会のご案内



令和7年10月4日(土)、第36回呉竹医学会学術大会を開催いたします。今回は昨年度に完成した東京呉竹医療専門学校で開催され、呉竹学園3校の在校生が集い、研究活動の成果を発表いたします。

また、斯界で活躍されている講師の方々による記念講演・実技セッション、本学園付属施術所の研修生による症例報告会、教員・卒業生などによる研究発表も行われます。

【日時】 令和7年10月4日(土) 10:00～16:20(予定)

【会場】 東京呉竹医療専門学校

(東京都新宿区四谷三栄町16-12 電話: 03-3341-4043)

大宮校に新学科が開設されます！

令和8年4月、大宮校において「鍼灸高度臨床実践科」が新設されます。

この学科は、はり師・きゅう師の有資格者を対象とした、臨床教育に特化した1年間の卒後教育コースです。

鍼灸師に認められている開業権を活かし、医療機関と連携して地域医療の一角を担える人材、および高い知識・技術を備えた施術者として企業の中で指導的な立場を担える人材の育成を目指し、学内外の施設で徹底的な臨床教育を行います。その中核的科目である「臨床研修」は、総時間数のうち90%近くを占めます。

また、「働きながら学ぶ」というコンセプトのもと、施術管理者の要件である1年間の実務経験を積むことができます。

学科の詳細につきましては、大宮校ホームページをご覧ください。

呉竹会後期講演会・懇親会のお知らせ



令和7年12月14日(日)、呉竹会後期講演会・懇親会を開催いたします。ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

講演会の内容、出席確認などの詳細につきましては、決定次第、本校ホームページの新着情報に掲載いたします。また、学校公式 SNS (X (旧 Twitter)・Instagram) でもお知らせいたします。

【日時】 令和7年12月14日(日)

講演会 14:00～ 懇親会 16:30～(予定)

【会場】 横浜呉竹医療専門学校(講演会)・近隣開場(懇親会)

2025年7月27日（日）、横浜呉竹医療専門学校にて『第13回くれたけ祭』が開催されました。

昨年2024年には、コロナ禍以降で初めての開催となり、続く本年も無事に開催することができました。これもひとえに、呉竹会の皆様をはじめ、多くの関係者のご支援とご協力の賜物と存じます。教職員一同、心より御礼申し上げます。

当日は、各クラスによる模擬店が多数出店されました。焼きそば、たこ焼き、フランクフルト、縁日など、まさに“お祭り”さながらのラインナップで、来校された皆様にお楽しみいただくことができました。

また、模擬店だけでなく、様々なイベントも開催されました。恒例となったダンスパフォーマンス、在校生によるDJイベントなどが披露され、会場を大いに盛り上げました。さらに、在校生有志による能登半島応援チャリティーでは、海鮮出汁の販売を通じて、改めて被災地に思いを寄せるきっかけを提供してくれました。もちろん、例年人気のチャリティーマッサージ・チャリティー鍼灸も実施！多くの募金を集めました。

閉会式では、呉竹会会長・佐久間裕之先生よりご挨拶を頂いた後、くれたけ祭のポスターデザインを提供してくれた学生に対し、賞品の贈呈が行われました。

こうして、第13回くれたけ祭は多くの笑顔とともに、盛況のうちに幕を閉じました。

2025年度くれたけ祭 教職員実行委員一同



令和6年11月23日(土)、大阪にある森ノ宮医療学園専門学校にて、東洋療法学校協会主催の『要穴カルタ大会』に部員7名で参加してきました。

決して全員が満足いく結果ではなかったものの、勝敗以上に、大会の雰囲気を実際に感じ他校の実力を目の当たりにできたことが大きな収穫でした。特に優勝校や準優勝校の圧倒的な実力には驚かされ、五要穴の知識がまだ不十分であることを痛感し、カルタという競技を通じて、自分たちがどれほどもっとできるのかを考えさせられる機会となりました。この経験をもとに、今後も練習を重ね、知識を深め、より高いレベルでの競技を目指していきたいと思えます。



また、この大会は他校との貴重な交流の場でもありました。地域が異なる学校と接点を持つことにより、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。今回の大会に参加したことで、今後、後輩たちにとっても有益な経験を提供できると確信しています。さらに、この経験を生かして、自分自身の成長だけでなく、学校全体のレベルアップにも貢献できるよう努力を続けていきたいと思えます。

鍼灸マッサージ科3年1組 竹内瞳

※2025年度は11/23(日・祝)に東京呉竹医療専門学校で開催されます



令和7年3月10日(月)、11日(火)、新潟医療福祉大学にて「第28回 学生トレーナーの集い」が開催され、本学園も参加いたしました。1998年から続くこの集いは学生トレーナー界の大きな交流の場であり、今回は初の日本海側開催に全国から約250名の学生が集いました。

本学園は、将来スポーツトレーナーを目指す大学生に対し、鍼灸師や柔道整復師といった医療資格を持つことの強みを伝えるため、企業ブースを出展しました。ブースでは学科紹介や進路説明に加え、練習台への刺鍼体験コーナーを設けました。多くの学生が訪れ、熱心に耳を傾けてくれました。鍼灸の活用法や柔道整復師による外傷対応など、専門的な内容にも深い関心が寄せられ、今後の進路や医療資格について真剣に考える様子

がうかがえました。中には本学園への進学を決めている4年生もおおり、大変心強く感じました。

練習台を使った刺鍼体験も好評で、「初めて知った」「興味を持った」「将来の選択肢に加えたい」といった感想が寄せられました。本学園のみならず、業界全体の認知向上にも繋がった手応えを感じています。

参加学生はトレーナーを目指す意識が非常に高く、専門的な質問も多く、私たち教職員も大いに刺激を受けました。また、自作の名刺で交流するなど、学生ながら社会人としての行動を实践する姿は、見習うべき点だと感じました。

今回の参加を通じて、未来のトレーナーたちに医療資格の重要性を伝えられたことは大きな成果です。今後もこうした機会を活かし、業界の発展に貢献してまいります。

鍼灸科・鍼灸マッサージ科 飯田双海
柔道整復科 本田泰之

● 令和6年度優秀表彰者

学園賞

鍼灸マッサージ科 石崎幸大・青木風我・原田梨乃
 鍼灸科 田中里依
 柔道整復科 秋元優輝

(公社)全国柔道整復学校協会賞

柔道整復科 武藤沙羅

(公社)日本鍼灸師会賞

鍼灸科 新倉香里

(公社)全日本鍼灸学会賞

鍼灸マッサージ科 齋藤美空

東洋療法将来研究会 学生奨励賞

鍼灸科 田草川京子

(公社)神奈川県柔道整復師会賞

柔道整復科 近村琉介

呉竹医学奨励賞

鍼灸マッサージ科 松田百世・三ツ井穂佳
 鍼灸科 目附和斗
 柔道整復科 三浦小雪

(一社)神奈川県専各学校協会賞

鍼灸マッサージ科 ラッザリ千夏

(公社)全日本鍼灸マッサージ師会賞

鍼灸マッサージ科 尾崎優美子

(一社)日本柔道整復接骨医学会賞

柔道整復科 田中慶司

(一社)神奈川県鍼灸マッサージ師会賞

鍼灸マッサージ科 田中大貴

呉竹会賞

鍼灸マッサージ科 菊川麻美・野口瑞葵
 鍼灸科 安部成美
 柔道整復科 山崎柚留莉・木村皇介

(公社)東洋療法学校協会賞

鍼灸マッサージ科 川田文絵

(一財)職業教育・キャリア教育財団賞

鍼灸マッサージ科 小林真実・黒坂由美
 鍼灸科 安達順子
 柔道整復科 大津創太・齋江恒成・成田大和

(公社)日本柔道整復師会賞

柔道整復科 辻統衣

(一社)日本東洋医学系物理療法学会賞

鍼灸マッサージ科 細貝祐聡

(公社)神奈川県鍼灸師会賞

鍼灸科 和田祥子

● 新任教職員紹介

鍼灸科・鍼灸マッサージ科

海塩 洋一



本年度より、横浜呉竹医療専門学校の鍼灸科・鍼灸マッサージ科へ入職いたしました海塩洋一と申します。

2022年3月に鍼灸マッサージ教員養成科を卒業し、他校ではありますが3年間臨床に励み、教鞭を執っておりました。

教員としての原点でもある呉竹学園で、専任教員として勤務できることをうれしく思うと同時に、身が引き締まる思いです。

教員歴はまだ浅いですが、その分学生の皆さんの気持ちがわかる一番身近な存在になれるよう努力し、ともに成長していける教員でありたいと考えております。

これまでの3年間の経験を活かし、横浜呉竹医療専門学校のさらなる発展に向けて精一杯尽力していく所存でございますので、何卒よろしく願い申し上げます。

事務局

相楽 浩太郎



令和6年10月より横浜校事務局に入職いたしました相楽浩太郎と申します。

大学卒業後、相模原の葬儀社に就職し、営業職として働いておりましたが、この度ご縁があり、呉竹学園に入職することとなりました。

学校の事務職に就くのは初めてで経験する全てのことが勉強だけです。未経験ではありますが、呉竹学園の戦力となれるよう精一杯尽力していく所存です。

まもなく創立100周年を迎える歴史ある伝統校で働けることをとても光栄に思います。学生の立場に立って、よき理解者でいられるような温かみのある職員でありたいと思います。

不慣れで至らぬ点もあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

呉竹会会計報告

令和6年度 決算報告

(自 令和6年4月1日 ~ 至 令和7年3月31日)

収入の部

| 項目 | R6年度予算 | R6年度決算 | 増△減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|-------|------|
| 前期繰越金 | 1,908,585 | 1,908,585 | 0 | |
| 会費収入 | 2,640,000 | 2,640,000 | 0 | 132名 |
| 雑収入 | 10 | 1,855 | 1,845 | 利息など |
| 合計 | 4,548,595 | 4,550,440 | 1,845 | |

支出の部

| 項目 | R6年度予算 | R6年度決算 | 増△減 | 備考 |
|----------|-----------|-----------|-------------|---------|
| 会議費(役員会) | 20,000 | 6,000 | △ 14,000 | |
| 運営費 | 1,370,000 | 1,235,948 | △ 134,052 | |
| 通信費 | 1,250,000 | 1,161,558 | △ 88,442 | |
| 交通費 | 100,000 | 74,390 | △ 25,610 | |
| 消耗品費 | 20,000 | 0 | △ 20,000 | |
| 事業費 | 1,263,900 | 1,222,225 | △ 41,675 | |
| 講演会費 | 140,000 | 161,987 | 21,987 | |
| 卒業記念品費 | 273,900 | 264,902 | △ 8,998 | |
| 呉竹医学会抄録代 | 0 | 0 | 0 | |
| 学園祭運営費 | 850,000 | 795,336 | △ 54,664 | |
| 柔道大会補助費 | 0 | 0 | 0 | |
| 杯-ツ大会補助費 | 0 | 0 | 0 | |
| 学生支援費 | 0 | 0 | 0 | |
| 交際費 | 580,000 | 530,200 | △ 49,800 | |
| 懇親会補助金 | 550,000 | 530,200 | △ 19,800 | |
| 慶弔費 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | |
| 事業準備積立金 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 予備費 | 1,114,695 | 0 | △ 1,114,695 | |
| 次期繰越金 | 0 | 1,356,067 | 1,356,067 | |
| 合計 | 4,548,595 | 4,550,440 | 1,845 | 普通預金の利息 |

〈 令和6年度 事業準備積立金 決算 〉

収入の部

| | |
|---------|------------|
| 前期繰越金 | 14,867,618 |
| 令和6年度予算 | 200,000 |
| 利息 | 158 |
| 合計 | 15,067,776 |

支出の部

| | |
|-----------|------------|
| 一般会計へ繰り入れ | 0 |
| 合計 | 15,067,776 |

令和7年度 予算

(自 令和7年4月1日 ~ 至 令和8年3月31日)

収入の部

| 項目 | R6年度決算 | R7年度予算 | 増△減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 前期繰越金 | 1,908,585 | 1,356,067 | △ 552,518 | |
| 会費収入 | 2,640,000 | 2,460,000 | △ 180,000 | 新入生123名分 |
| 雑収入 | 1,855 | 1,500 | △ 355 | 利息など |
| 合計 | 4,550,440 | 3,817,567 | △ 732,873 | |

支出の部

| 項目 | R6年度決算 | R7年度予算 | 増△減 | 備考 |
|----------|-----------|-----------|-------------|----|
| 会議費(役員会) | 6,000 | 20,000 | 14,000 | |
| 運営費 | 1,235,948 | 1,370,000 | 134,052 | |
| 通信費 | 1,161,558 | 1,250,000 | 88,442 | |
| 交通費 | 74,390 | 100,000 | 25,610 | |
| 消耗品費 | 0 | 20,000 | 20,000 | |
| 事業費 | 1,222,225 | 1,286,000 | 63,775 | |
| 講演会費 | 161,987 | 166,000 | 4,013 | |
| 卒業記念品費 | 264,902 | 320,000 | 55,098 | |
| 学園祭運営費 | 795,336 | 800,000 | 4,664 | |
| 交際費 | 530,200 | 580,000 | 49,800 | |
| 懇親会補助金 | 530,200 | 550,000 | 19,800 | |
| 慶弔費 | 0 | 30,000 | 30,000 | |
| 事業準備積立金 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 予備費 | 0 | 361,567 | 361,567 | |
| 次期繰越金 | 1,356,067 | 0 | △ 1,356,067 | |
| 合計 | 4,550,440 | 3,817,567 | △ 732,873 | |

〈 令和7年度 事業準備積立金 予算 〉

収入の部

| | |
|---------|------------|
| 前期繰越金 | 15,067,776 |
| 令和7年度予算 | 200,000 |
| 利息 | 500 |
| 合計 | 15,268,276 |

支出の部

| | |
|-----------|------------|
| 一般会計へ繰り入れ | 0 |
| 合計 | 15,268,276 |

卒業生メールアドレス登録について

横浜呉竹医療専門学校は、卒業生の皆様との連携や絆を深めることが重要と考えています。

今後、その情報発信のひとつとして、講演会や懇親会、卒後講習会の開催など、

卒業生向けのお知らせをメールで配信することを検討しています。

配信を希望される卒業生の方は、下記 QR コードよりメールアドレスの登録をお願いいたします。

※登録したメールアドレスを変更したい方、配信停止をご希望の方も QR コードからご登録ください

www.kuretake-yokohama.ac.jp

本校 HP > 訪問者別メニュー > 卒業生の方へ > 卒業生メールアドレス登録フォーム



第 33 回国家試験結果

| 資格名称 | 合格者 | 受験者 | 合格率 | 全国平均(既卒含む) |
|-------------|-----|-----|--------|------------|
| あん摩マッサージ指圧師 | 59名 | 59名 | 100% | 87.20% |
| はり師 | 69名 | 76名 | 90.80% | 73.90% |
| きゅう師 | 69名 | 76名 | 90.80% | 74.90% |
| 柔道整復師 | 17名 | 29名 | 58.60% | 57.80% |

※2025(令和7)年3月卒業生・新卒者

2026(令和8)年度入学生 入試日程

職場の同僚やご友人など、本校への進学を希望する方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

〈鍼灸マッサージ科・鍼灸科〉

| 試験区分 | 募集対象 | 試験日 | 選考方法 |
|------------|---------|--|--------|
| 総合型選抜(A方式) | 高校生・社会人 | [1次] 2025年7月20日(日) [2次] 2025年9月7日(日) | 作文・面接 |
| 総合型選抜(B方式) | 高校生・社会人 | 2025年10月12日(日) | 作文・面接 |
| 学校推薦型選抜 | 高校生 | [1次] 2025年10月26日(日) [2次] 2026年1月18日(日) | 面接 |
| 社会人選抜 | 社会人 | [1次] 2025年10月26日(日) [2次] 2026年1月18日(日) | 作文・面接 |
| 特待生選抜 | 高校生・社会人 | [1次] 2025年11月16日(日) [2次] 2026年1月18日(日) | 現代文・面接 |
| 一般選抜 | 高校生・社会人 | [1次] 2025年11月16日(日) [2次] 2026年1月18日(日) [3次] 2026年2月15日(日) ※ [4次] 2026年3月8日(日) ※ | 現代文・面接 |

※鍼灸マッサージ科は、募集定員に達した場合、一般選抜3次および4次の入試は実施しません

〈柔道整復科〉

| 試験区分 | 募集対象 | 試験日 | 選考方法 |
|------------|---------|--|--------|
| 総合型選抜(A方式) | 高校生・社会人 | [1次] 2025年7月20日(日) [2次] 2025年9月7日(日) | 面接 |
| 総合型選抜(B方式) | 高校生・社会人 | [1次] 2025年10月12日(日) [2次] 2026年1月18日(日) [3次] 2026年2月15日(日) [4次] 2026年3月8日(日) | 面接 |
| 学校推薦型選抜 | 高校生 | [1次] 2025年10月26日(日) [2次] 2026年1月18日(日) | 面接 |
| 社会人選抜 | 社会人 | [1次] 2025年10月26日(日) [2次] 2026年1月18日(日) | 面接 |
| 特待生選抜 | 高校生・社会人 | [1次] 2025年11月16日(日) [2次] 2026年1月18日(日) | 現代文・面接 |
| 一般選抜 | 高校生・社会人 | [1次] 2025年11月16日(日) [2次] 2026年1月18日(日) [3次] 2026年2月15日(日) [4次] 2026年3月8日(日) | 現代文・面接 |

公式 SNS



呉竹会会員情報の変更

呉竹会では皆様に「呉竹だより」をはじめ、総会・講演会、卒後臨床講習会、同窓会開催等のご案内を送付しています。**住所・氏名等が変わられた方は**、本校ホームページ、又はお電話にてお知らせください。

URL : www.kuretake-yokohama.ac.jp (訪問者別メニュー>卒業生の方へ)
TEL : 045-471-3731 (平日・土曜 9時~17時)

【発行】 学校法人呉竹学園 横浜呉竹医療専門学校 (発行日 2025(令和7)年8月)
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-24
電話 045-471-3731 FAX 045-471-3732 URL www.kuretake-yokohama.ac.jp